



文化博物館だより

第 589 号

2022 年 11 月 30 日

今回の博物館だよりは、「ぶんぱく★アクアリウム★フェス」の報告、開催中の企画展「発掘された明石の歴史展－明石の墓と祭祀－」について、次回企画展「郷土作家シリーズ 二つの展示」のご案内をお届けします。

ぶんぱく★アクアリウム★フェスを開催しました。11月12日(土)・13日(日)

全国豊かな海づくり大会兵庫大会とあかし文化芸術月間にあわせて、当館でも海にまつわるイベントを2日間開催しました。初日は、「ギョギョッと体験！博物館ツアー」を実施し、参加者は、博物館や明石の海にまつわる謎解きクイズを解きながら、普段は入ることができない博物館のバックヤード他、展示室や2階テラス、体験学習室など館内をぐるっと巡りました。2日目は、「オリジナルとバックづくり」と「ゆらゆら海のキャンドルづくり」をロビーで開催し、たくさんの方に楽しんでいただきました。作っていただいたキャンドルは、後術のクリスマスマーケットにて展示いたします。



博物館ツアーの様子

開催中！ 企画展「発掘された明石の歴史展－明石の墓と祭祀」12月4日(日)まで



シンポジウムの様子

明石地域の発掘調査で明らかになった縄文時代から江戸時代までの遺構や遺物を展示し、お墓や副葬品がどのように時代や生前の階層、地位によって反映、変化してきたかを紹介しています。専門家の研究分析により五色塚古墳と幣塚古墳の埴輪の原料土が同じであることが判明した事実は、新聞でも大きく取り上げられましたが、会場では両埴輪の実物を展示しています。関連イベントとして開催した講演会とシンポジウムでは、研究者それぞれの専門的な視点による解説に参加者は熱心に聞き入っておられました。

展覧会は、12月4日(日)まで。お見逃しないうえぜひお越しください。

12月17日(土)より開催！ 企画展「郷土作家シリーズ－二つの展示」

2022年という2が揃った年にちなんで、「二つ」をテーマに収蔵作品を紹介します。明石ゆかりの作家の作品を中心に、明石藩土の家に伝わった美術品など、明石の地にまつわる収蔵作品の中から、二つのモチーフが描かれた絵画、2点あわせて1組の焼き物など、「二つ」の関係性を考えさせるような作品を集めました。作品の美しさとともに、作品に込められた意味や思いを「二つ」という視点からもお楽しみください。関連イベントも予定しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



寺島紫明「二人の舞妓」



クリスマスマーケットを開催します！ 12月18日(日) 11時～16時

12月18日(日)に当館にてクリスマスマーケットを開催します。お菓子や手芸品、アクセサリなどを販売するお店がぶんぱくにやってきます！ARTSHIP 明石 2022 (NPO 法人明石障がい者地域生活ケアネットワーク) によるギャラリーでの作品展示や弦楽器奏者トリオによるロビーコンサート、色鉛筆ワークショップも同時開催！例年とは趣向が異なり子どもだけでなく大人の方も存分に楽しめるクリスマスイベントです。ぜひ当日は、クリスマスの楽しい雰囲気味わいに当館にお越しください。

企画展「発掘された明石の歴史展－明石の墓と祭祀－」

会 期：開催中～12月4日(日)

※月曜休館

開館時間：9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観 覧 料：大人 200 円、大高生 150 円、中学生以下無料

おもしろい たのしい
来て、見て、発見！

ぶんぱく

詳しい展覧会・イベント情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



SDGs未来安心都市・明石

いつでも すべての人に やさしいまちを みんなで